

男女共同参画社会実現に向けた 全学的教育 プログラム



履修ガイド 2007年度版

新学期を迎えて、どんな授業を取ろうか履修計画をたてながら心躍らせていることでしょうか。ここではみなさんの授業選びの参考に、2007年度から一橋大学で始まるジェンダー教育プログラムのカリキュラムをご紹介します。

GenEPとは? (Gender Education Programの略)

私たちの大学では、2005年度より「一橋大学における男女共同参画社会実現に向けた全学的教育プログラムの策定」(GenEP)プロジェクトを始動しました。これは、社会学部の教員が全学の教員と連携しながら、男女共同参画社会実現に向けた本学ならではのジェンダー教育プログラムの策定を目指した活動です。このGenEPプロジェクトの2年間の活動をへて、いよいよ2007年度から新しいジェンダー教育のプログラムが始まります。共学の大学として男子学生・女子学生が肩を並べて男女共同参画社会に向かう時代のトレンドを学び、相互の課題を受けとめあうことはとても大事なことです。将来さまざまな分野で活躍するであろうみなさんが、全学共通教育から学部・大学院科目まで体系的に組まれたこのジェンダー教育プログラムの第一期生として、積極的に授業に参加されることを期待します。

ジェンダー社会科学研究センター内GenEP部門
マーキュリータワー 6階 3617
<http://www.soc.hit-u.ac.jp/gep/>

GenEPはジェンダー理論の学習を支援します。みなさんが男女共同参画社会の実現をめぐる問題に気づき、解決に必要な知識、能力、手法を身につけるためのカリキュラムを提供します。GenEPの道案内を頼りに、自らの関心をおおいに生かして、それぞれ自分のジェンダー教育プログラムを組み立て、修正しながら進んでください。

目指す ゴールは...

- ジェンダーや男女共同参画にかかわる基礎的知識を身につけ、その理念と方法を体系的に修得する
- さまざまな専門領域にジェンダーの視点を積極的に導入し、市民社会を解明する視座を構築する

基幹 科目群

ジェンダーを授業の主軸とする科目群。導入的科目から発展的科目へという積み上げ式の履修です。ジェンダーや男女共同参画にかかわる基礎的素養を身につけることを第一の目標にしています。さらに発展レベルでは独創的かつ先端的な研究の基礎となる理論や方法、当該研究分野に関する包括的な知見の修得をめざします。

連携 科目群

ジェンダーがとりあげられる学際的な科目群。基幹科目群、および全学的な教育活動と連携しています。既存の社会科学の枠組み・体系をジェンダーの視点から問い直していきます。

履修のツボ

緩やかなスロープ? 連携?

積み上げ式の基幹科目群と学際的な連携科目群の二つの科目群を相補的に履修することができます。全学共通教育、学部教育から大学院修士・博士後期課程の教育にいたるまで、緩やかなスロープを上るように学んでいけるカリキュラムがつけられています。

キャリアデザイン?

ジェンダーや男女共同参画についての素養は、自分自身の価値を高め、将来像を思い描くことを助け、みなさんが市民社会や企業において構想力を発揮していくための力となるはずで。

労働・経営・ジェンダー?

2005年に行われた「一橋大学における男女共同参画に関する学生の意識・実態調査」で多くの学生から受講希望のあった「労働とジェンダー」、「経営とジェンダー」をテーマとした講義が新設されています。ジェンダーをより身近にとらえ、自らのキャリアデザインを具体的に描いてみてください。

新しい社会科学?

それぞれの専門的知見を深め研究を進展させていくなかで、ジェンダーの視点から既存の社会科学のディシプリンに揺さぶりをかけ、新しい社会科学の地平を拓くことをめざしています。

履修者の声

進路を考える際、「女性の働く環境」ということをより意識して考えるようになった。

そうだったのかと気付いた。というも、自分の中にもやっぱり差別的な感情はある程度あって、それを言い当ててもらった感じがしたからだと思う。

未知の世界を見せてもらった。もっと相手のことを知りたいと思った。

知らないうちに自分も「男とはこうあるべき」という考えを持っていたことに気付いた。

学内リンク

- 一橋大学には、学生生活で困ったこと、悩んでいること、就職のこと、なんでも相談できる場所があります。
- 学生支援センター <http://www.hit-u.ac.jp/shien/counseling/shien.html>
- 学生相談室 本館1階 「いまここ」HP <http://www.hit-u.ac.jp/soudan/counseling/index.htm>
 - キャリア支援室 本館1階
 - キャンパスライフ相談室 第1講義棟1階東側

セクシュアル・ハラスメントガイドライン

<http://www.hit-u.ac.jp/sekuhara/guideline.htm>

相手の望まない性的な言動やジェンダー(性別)役割を押しつけることはセクシュアル・ハラスメントになります。一橋大学はその防止と排除のための措置、また問題が生じた場合の適切な措置のためのガイドラインを定めています。

基幹科目群

2007年度 連携科目群

男女共同参画時代のキャリアデザイン

新設

コーディネーター：西山昭彦所長(東京ガス西山経営研究所)
共通・冬/木4 オムニバス形式

人生設計までも含む豊かなキャリアデザインを構想するための、基礎的な知識、社会や企業の理解の仕方、考え方を学ぶ場を提供します。社会で活躍する本学卒業生を中心に、官公庁で男女共同参画推進にかかわっている方に行政の支援策の現状を、また企業で実践している経営トップ、人事部、管理職の方々に、その企業独自の取組みと実践、課題を話していただきます。(育休取得キャリア官僚、電通役員、女性経営者・管理職、倉田真由美、ホストクラブ代表などが講師として教壇に立ちます。)

ジェンダーから世界を読む

コーディネーター：中野知律
共通・冬/水2 オムニバス形式

複数の言語文化圏において、さまざまな視点とテーマのもと「ジェンダーから社会を読む」試みを展開します。言葉・宗教・歴史・地理的環境・社会組成が異なる現実を読み解くうえで、「ジェンダー」という視角あるいはファクターを考慮に入れるとはどういうことなのか、多様な情勢や理念・思想面の問題提起を踏まえながら検討していきます。ジェンダーをめぐる異文化交流の輻輳をおおいに楽しんでください。

ヒューマン・セクソロジー

村瀬幸浩
共通・夏/火2

男女が互いに人権を尊重しつつ手を携えて生きる社会の実現について、性(Sexuality)の分野に引き寄せて考えます。青年期の性的教養としての性の生理、エイズ・性感染症などの性の病理を学びなおすとともに、性の多様性、性の暴力など、「人権」としての性を追求します。

ジェンダーと心理学

柘植道子
共通・冬/木3

社会における性別の持つ意味や問題に心理学の視点からアプローチします。心理学の理論のなかでジェンダーはどのように捉えられ、研究されているのか。ジェンダーとメンタルヘルスにはどのような関係があるのかについて学んでいきます。

ジェンダーと法

司法や法学における性差についての種々の偏見を明らかにし、既存の法律・学説・判例等を再検討します。

ジェンダーと社会

ジェンダーとは何かをとらえ直し、家族・労働・性愛・暴力などのテーマ別にジェンダー視点から社会へとアプローチする方法を学んでいきます。

ジェンダー論

現在のジェンダー研究において大きな位置を占めているポスト構造主義のジェンダー理論について、構造主義からポスト構造主義にいたる現代思想の潮流の中で理解することを目的とします。

家族社会学

木本喜美子
社・発展/大学院 夏/木3

現代家族がかかえる問題を明らかにするためには、家族の歴史変動過程を把握する必要があります。何ごとによらず「ものすべてに始まりがあれば終わりがある/私たちはいったいどのあたり?」(茨木のり子詩集)と問いながら、ジェンダー・アプローチにもとづく家族変動論を展開します。人間関係における親密性に関心が集まる現代社会がいかに形成されたのか、じっくりと考える機会を提供します。

労働とジェンダー

新設

コーディネーター：木本喜美子
社・発展/大学院 冬/金3 オムニバス形式

現実の労働・仕事の場面で起こっている諸問題をジェンダーの視点からとりあげます。たとえば、若者就労問題、過労死問題、差別・人権問題、労働市場、企業組織、労働組合、グローバリゼーション、ワーク・ライフ・バランス、企業の社会的責任など。社会変動に対する的確な認識・分析力、男女共同参画の視点を兼ね備えた専門的職業人に必要な力量形成をめざします。社会学部、商学部、法学部教員(久富善之、加藤哲郎、伊豫谷登士翁、阪口正二郎、高田一夫、守島基博、林大樹、谷本寛治ほか)のコラボレーション。

社会科学のなかのジェンダー

新設

コーディネーター：貴堂嘉之
社・大学院 夏/木2 オムニバス形式

ジェンダー視点を組み入れた社会科学の新しい可能性を切り拓くことを目的に、既存の社会科学/人文科学のディシプリンとジェンダー研究とを融合させ、学際的かつ先端的な研究の創造をめざします。オムニバス授業の講師は、井川ちとせ、伊藤るり、伊豫谷登士翁、岡崎彰、木本喜美子、小井土彰宏、佐藤文香、多田治、柘植道子。

社会学/地球市民とジェンダー

木本喜美子
社・大学院 夏/金2

現代日本では、格差社会の進行や社会の二極分化という問題が議論されています。社会分析において、ジェンダーと階級との交錯関係をいかにとりおさえるべきかという課題は、ますます重要なものとなってきています。本講義では、このジャンルの実証分析として評価の高いテキストを取り上げ、そこで分析方法について考察していきます。

以上8科目2007年度開講

…来年度以降は新たに科目が加わる予定です

全学共通科目

- 夏/火2 地球社会研究 ……落合一泰・宮地尚子
- 夏/木2 人類学 ……岡崎 彰
- ◆ 夏/木2 教育と経済Ⅰ ……松塚ゆかり
- 夏/金3 まちづくり ……林 大樹・横田雅弘
- 冬/月4 各国文学論(アメリカ文学史)Ⅰ ……越智博美
- ◆ 冬/木2 教育と経済Ⅱ ……松塚ゆかり
- 冬/水2 アメリカ研究入門Ⅰ ……三浦玲一
- 冬/木4 各国文学論(イギリス文学原典講読)Ⅰ ……井川ちとせ
- 冬/金3 外国語上級(リーディング)Ⅰ ……中井亜佐子
- 冬/金3 まちづくり ……林 大樹・横田雅弘

学部

- 商 冬/水2 消費文化論 ……越智博美
- 経 夏/木2 地域研究方法論 ……加藤 博・佐藤 宏
- 社 夏/火2 社会人類学総論 ……石井美保
- 社 夏/火2 ヨーロッパ社会史総論 ……阪西紀子
- 社 夏/火4▲ 社会文化論原典講読 ……井川ちとせ
- 社 夏/水2 社会学理論 ……多田 治
- 社 夏/木2 教育研究法 ……木村 元
- 社 夏/木3 宗教社会学Ⅰ ……深澤英隆
- ◆ 社 夏/木3 社会史史料講読Ⅲ ……貴堂嘉之
- 社 夏/金3 社会心理学Ⅰ(社会的分野) ……安川 一
- 社 夏/金3 教育の歴史 ……関 啓子
- ◆ 社 冬/月2▲ アメリカ社会史特論 ……貴堂嘉之
- ★ 社 冬/木3▲ 社会調査特問 ……木本喜美子
- 社 冬/金1 教育社会学 ……中田康彦
- 社 冬/金3▲ 環境教育学 ……関 啓子

大学院

- 商 冬/火1 人材マネジメント ……守島基博
- 経 夏/火3 労働経済学Ⅰ ……川口大司
- 経 夏/木2 地域研究概論 ……加藤 博・佐藤 宏
- ◆ 社 夏/月2 アメリカ研究 ……貴堂嘉之
- 社 夏/月2 地球市民論 ……関 啓子
- ◆ 社 夏/水2 平和社会論 ……宮地尚子
- ★ 社 通/金5 先端課題研究7 「日常実践/方法としてのジェンダー」 ……コーディネーター 木本喜美子・貴堂嘉之
- 社 冬/火1 情報行動文化論 ……ジョナサン・ルイス
- ◆ 社 冬/火2 地球社会情報論 ……多田 治
- 社 冬/火4 文芸思想研究 ……井川ちとせ
- ◆ 言 冬/水2 欧米言語文化論(英語圏Ⅲ) ……中井亜佐子

● 講義におけるジェンダー関連の問題を取り上げ方の目安 ●

- ★ 講義全体をジェンダーの視点から構成する
- ◆ ジェンダーを講義の一つの柱とする
- ジェンダーについて1、2回取り上げる2007年度連携科目群

※▲は学部・大学院共修。委細は各授業のオリエンテーションで確認してください。また履修登録の際には、学習計画ガイドブック(学部)/学生便覧・講義要項(大学院)に従ってください。